

エコアクション21
環境経営レポート

《2024年度 対象期間:2024年3月1日～2025年2月28日》



GREEN REMAKE

<http://www.green-remake.net>

発行日 : 2025年6月4日

《目次》

1. 環境経営方針 1
2. 組織の概要 2～3
(1)事業者名及び代表者名	
(2)所在地及び連絡先	
(3)事業内容	
(4)事業規模	
(5)環境管理責任者氏名・担当者連絡先	
(6)処理工程図	
(7)許可・登録の内容	
(8)産業廃棄物の処理料金	
(9)主要設備	
3. 対象範囲(認証・登録範囲) 4
(1)登録・認証範囲	
(2)レポートの対象期間及び発行日	
(3)環境管理実施体制(組織図)	
4. 環境経営目標 5
5. 環境経営計画と取組内容 6
6. 環境経営目標の実績・評価 7～9
7. 環境経営計画とその結果 10
8. 次年度の環境経営目標と取組内容 11
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無 12
10. 代表者による全体評価と見直し・指示 13

1. 環境経営方針

環境経営方針

環境理念

グリーンリメイク株式会社は、環境問題を誰もが取り組むべき重要課題と捉え、古紙の仕入れ、選別・圧縮・梱包、販売、輸送の事業活動を通じて資源循環型社会の形成実現に向け努力するとともに、下記のような環境負荷の低減と汚染の防止に積極的かつ継続的に取り組みます。

基本方針

- (1) エコアクション21に基づく環境経営システムに取り組み、環境関連の法令、条例等の規制事項等を順守するとともに、地域・業界・顧客の環境関連要求事項に配慮しつつ、環境活動の継続的改善をはかります。
- (2) 環境目標及び行動計画として下記事項を重点項目とし、必要に応じ見直すことにより、環境方針に整合した活動を行う。
 - ① 廃棄物の徹底した分別によるリサイクルの推進
 - ② 電力・化石燃料使用量削減による省エネルギーの推進
 - ③ 水の適正使用による総排水量の削減
 - ④ グリーン購入の推進
 - ⑤ 環境配慮サービスの充実
- (3) 『REMAKINGグループ』として地域に愛される企業を目指し、自社ホームページに掲載したSDGs宣言を社内外に活動を継続的に発信していく。
- (4) 全従業員にこの環境経営方針を周知し、環境経営システムの継続的改善を徹底いたします。

制定 2008年10月15日

改訂 2024年 5月21日

岐阜市西鶉6丁目25番地

グリーンリメイク株式会社

代表取締役 神山靖規

2. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

グリーンリメイク株式会社 <http://www.green-remake.net>

代表取締役 神山 靖規

(2) 所在地及び連絡先

本 社	: 岐阜市西鶉6-25	☎ (058)274-7730
岐 阜 営 業 所	: 岐阜市西鶉6-37	☎ (058)271-0525
大 垣 営 業 所	: 大垣市和合新町2-47	☎ (0584)73-8678
各 務 原 営 業 所	: 各務原市鶉沼朝日町1-274	☎ (058)385-1111
中 濃 営 業 所	: 加茂郡坂祝町酒倉303	☎ (0574)25-5218
多 治 見 営 業 所	: 多治見市山吹町1-40	☎ (0572)23-5021
名 古 屋 南 営 業 所	: 名古屋市南区元塩町6-16-1	☎ (052)612-1470
名 古 屋 北 営 業 所	: 名古屋市西区砂原町341	☎ (052)502-2588

(3) 事業内容

- ①古紙の仕入・選別・圧縮梱包・販売
- ②古着の仕入・販売
- ③産業廃棄物収集運搬（許可はあるが実績は無し）

(4) 事業規模

法 人 設 立	: 2000年11月 1日
資 本 金	: 9,000万円
売 上 高	: 1,016百万円
従 業 員	: 71人
処 理 量	: 67,866t

(5) 環境管理責任者氏名・担当者連絡先

環境管理責任者・担当者

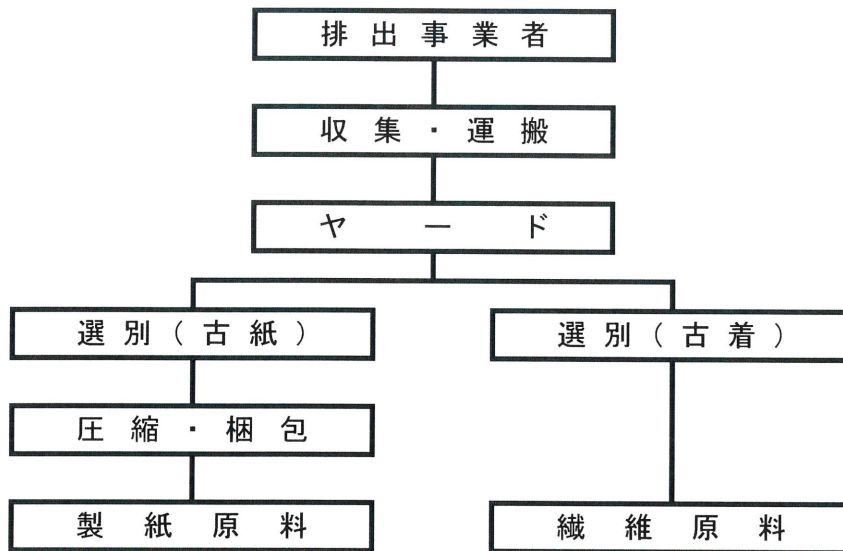
山田 年春

E-mail t-yamada@green-remake.net

TEL (058)274-7730

FAX (058)274-2743

(6) 処理工程図



(7) 許可・登録の内容

岐阜県 廃棄物再生事業者登録 …… 登録番号 第43号
 岐阜県 産業廃棄物収集運搬業 …… 許可番号 第02101186370号
 有効期限: 2020年11月20日 ~ 2025年11月19日
 事業範囲: 廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く)、紙くず・金属くず(") 3種類

(8) 産業廃棄物の処理料金

廃棄物の収集運搬については、廃棄物の種類・排出量・運搬距離により異なりますので
 その都度お見積りにより決定します。

(9) 主要設備

2025年 2月28日 現在

	本社	岐阜C	名南C	各務原C	多治見C	大垣C	名北C	中濃C
従業員 (パート・派遣含む)	8	18	13	2	7	7	8	8
事業所敷地面積(m ²)	669	2,430	2,056	1,322	2,073	1,425	1,008	2,451
車 両 (台)	営業車	5	-	-	-	-	-	-
	トラック	-	11	3	1	1	2	3
	塵芥車	-	10	7	1	2	2	3
	リフト	-	3	3	2	1	1	3
	ショベル	-	1	1	-	1	1	-
ベラー施設	-	1	1	1	1	1	1	1

3. 対象範囲(認証・登録範囲)

(1)登録・認証範囲

事業活動：古紙仕入・選別・圧縮梱包・販売、古着の仕入・販売

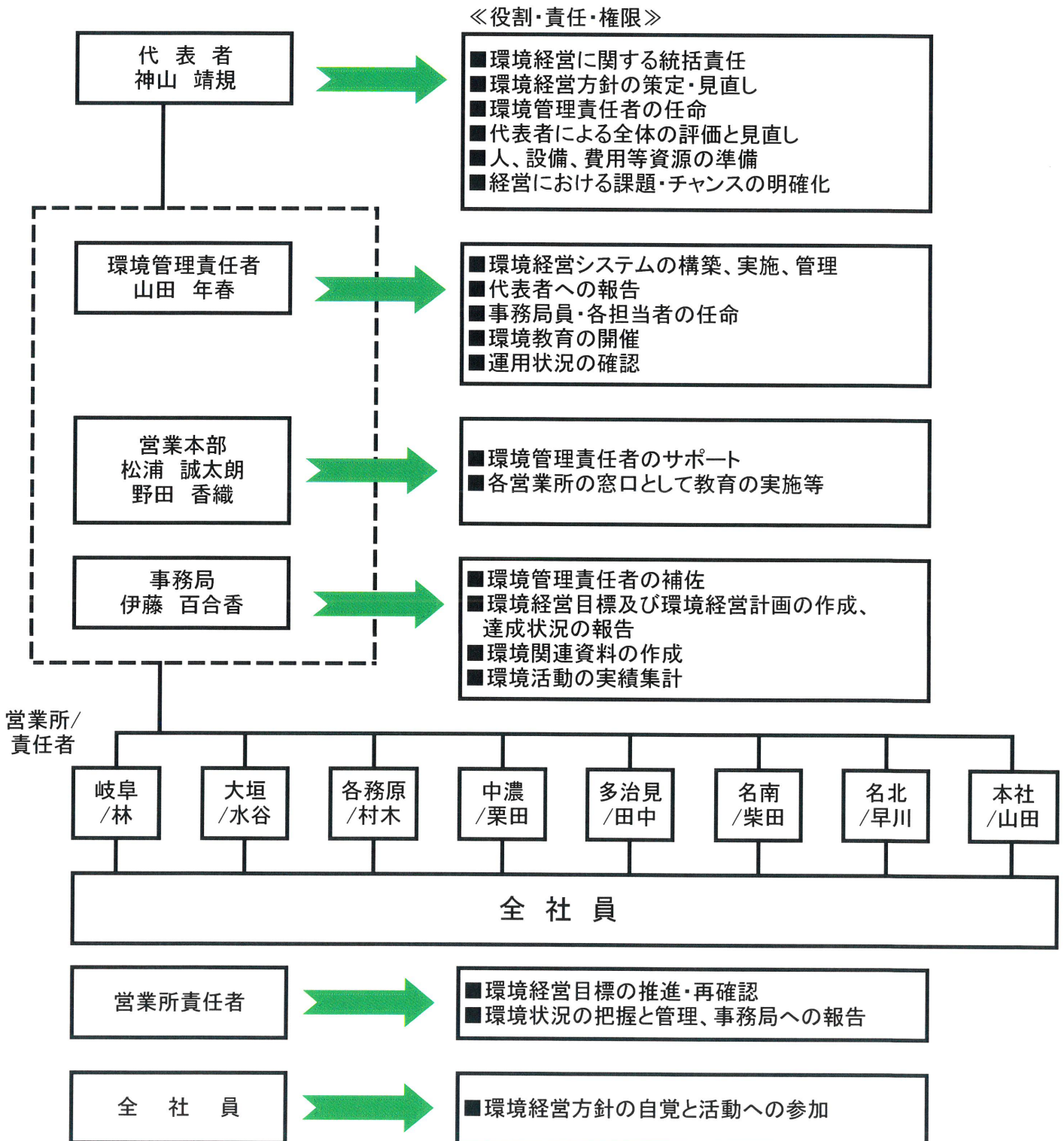
登録範囲：全組織・全活動を認証・登録の対象範囲とする

(2)レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2024年3月1日～2025年2月28日

発行日：2025年6月4日

(3)環境管理実施体制(組織図)



4.環境経営目標

環境経営目標		基準年度	目標値(対基準年)		
		2022年度 22/3~23/2	2023年度 23/3~24/2	2024年度 24/3~25/2	2025年度 25/3~26/2
(1) 二酸化炭素排出量の削減	①電力使用量の削減 (kWh)	533,692	1%削減 528,355	2%削減 523,018	3%削減 517,681
	②車両燃費の向上 (km/ℓ)	4.17	4.18	4.19	4.20
	③軽油使用量の削減 (ℓ)	(252,014)	(249,494)	(246,974)	(244,454)
	④ガソリン使用量の削減 (ℓ)	(5,826)	(5,768)	(5,710)	(5,651)
	⑤灯油使用量の削減 (ℓ)	2,547	1%削減 2,522	2%削減 2,496	3%削減 2,470
	⑥都市ガス使用量の削減 (m ³)	49.6	1%削減 49.1	2%削減 48.6	3%削減 48.1
	⑦LPG使用量の削減 (kg)	63.2	1%削減 62.6	2%削減 61.9	3%削減 61.3
二酸化炭素排出量合計 (kg-CO ₂)		(222,424.4)	(220,201.5)	(217,975.4)	(215,751.9)
(2) 廃棄物排出量の削減 (t)	一般	2.95	1%削減 2.92	2%削減 2.89	3%削減 2.89
	産廃	7.49	1%削減 7.45	2%削減 7.34	3%削減 7.27
(3) 水使用量の削減 (m ³)		1,893	1%削減 1,874	2%削減 1,855	3%削減 1,836
(4) グリーン購入の推進		購入時確認	購入時確認	購入時確認	購入時確認
(5) 環境配慮の取組		出前授業の推進 と廃棄物の再資源化提案	推進	推進	推進

1)電力使用量の二酸化炭素実排出係数は中部電力2020年度調整後排出係数0.379kg-CO₂/kWhを使用し、基準年度以降の二酸化炭素排出量も同一係数で算定。

2)数値目標のほか、グリーン商品の購入と環境配慮の取組を推進します。

3)化学物質は使用していません。

4)産業廃棄物収集運搬の許可はありますが、実績はありません。

5)軽油・ガソリン使用量は参考値です。

6)二酸化炭素排出量は参考値です。

5. 環境経営計画と取組内容

環境経営目標	取組項目
(1) 二酸化炭素排出量の削減 ①電力使用量の削減	デマンド管理システム導入
	設備の点検整備の徹底
	設備運転停止時の電源オフ
	電気設備のLED化
	空調の温度管理(冷房28℃、暖房20℃)
②車両燃費の向上 ③軽油使用量の削減 ④ガソリン使用量の削減	車両の点検整備の徹底
	エコドライブの徹底
	アイドリングストップ
	低年式車両の入替
	効率的な移動ルートの徹底
⑤灯油使用量の削減	不要時の消火
⑥都市ガス使用量の削減	給湯室使用の削減
⑦LPG使用量の削減	給湯室使用の削減
(2) 廃棄物排出量の削減	廃棄物分別の徹底
	使い捨て製品の使用抑制
	分別回収ボックスの設置
(3) 水使用量の削減	蛇口の締め忘れ防止の徹底
	洗車・散水時の節水
	手洗い時の節水
(4) グリーン購入の推進	事務用品等のグリーン購入
	省エネ商品の購入
(5) 環境配慮の取組	出前授業の推進
	お客様の廃棄物の再資源化提案

6. 環境経営目標の実績・評価

環境経営目標		基準年度	目標値	実績	目標値に対する評価
		2022年度 22/3～23/2	2024年度 24/3～25/2		
(1) 二酸化炭素排出量の削減	①電力使用量の削減 (kWh)	533,692	2%削減 523,018	445,757	-14.8% ○
	②車両燃費の向上 (km/ℓ)	4.17	4.19	4.04	-3.6% ×
	③軽油使用量の削減 (ℓ)	(252,014)	(246,974)	(259,778)	
	④ガソリン使用量の削減 (ℓ)	(5,826)	(5,710)	(4,042)	
	⑤灯油使用量の削減 (ℓ)	2,547	2%削減 2,496	2,268	-9.1% ○
	⑥都市ガス使用量の削減 (m ³)	49.6	2%削減 48.6	46.6	-4.1% ○
	⑦LPG使用量の削減 (kg)	63.2	2%削減 61.9	64.6	4.3% ×
	二酸化炭素排出量合計 (kg-CO ₂)	(222,424.4)	(217,975.4)	(184,261.1)	—
(2) 廃棄物排出量の削減 (t)	一般	2.95	2%削減 2.89	3.08	6.6% ×
	産廃	7.49	2%削減 7.34	8.10	10.3% ×
(3) 水使用量の削減 (m ³)	1,893	2%削減 1,855	2,041	10.0% ×	
(4) グリーン購入の推進	購入時確認	購入時確認	ファイル・詰め替え用糊等購入	○	
(5) 環境配慮の取組	出前授業の推進と廃棄物の再資源化提案	推進	出前事業の実施 古井小学校(岐阜県美濃加茂市)	△	

【評価】 ○：目標達成 △：ほぼ達成 ×：目標未達成

1)電力使用量の二酸化炭素実排出係数は中部電力2020年度調整後排出係数0.379kg-CO₂/kWhで算定しています。

2)水使用量に関し、地下水が多いため直近の検針票等で使用量を見直しました。

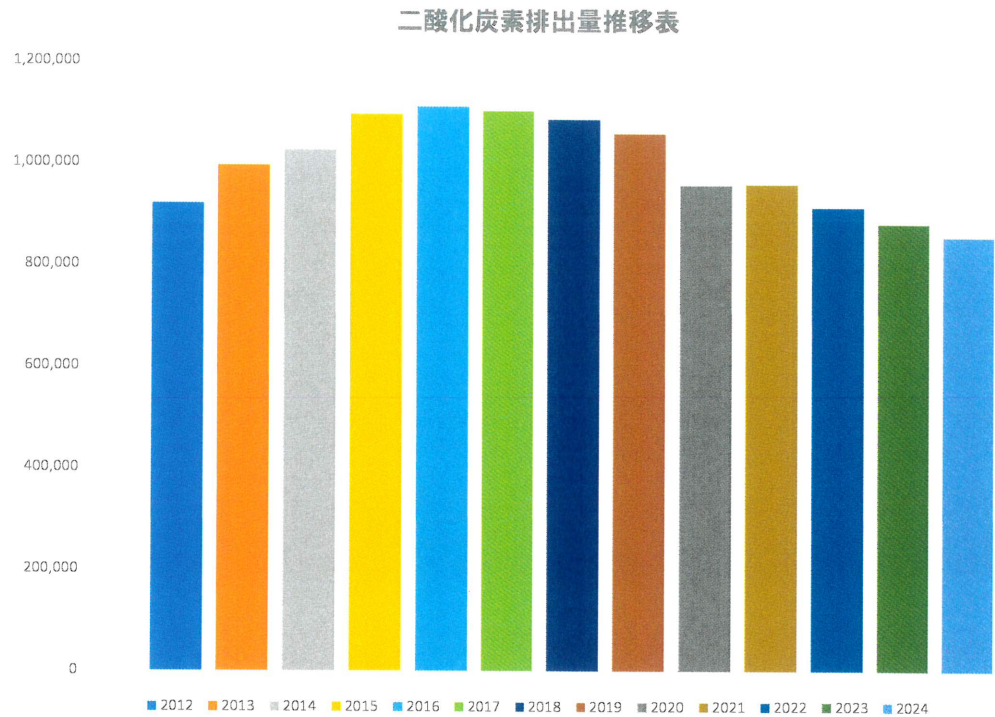
3)産廃の排出量は、従来通りマニフェスト報告と同一としました。

4)軽油・ガソリン使用量は参考値です。

5)二酸化炭素排出量は参考値です。

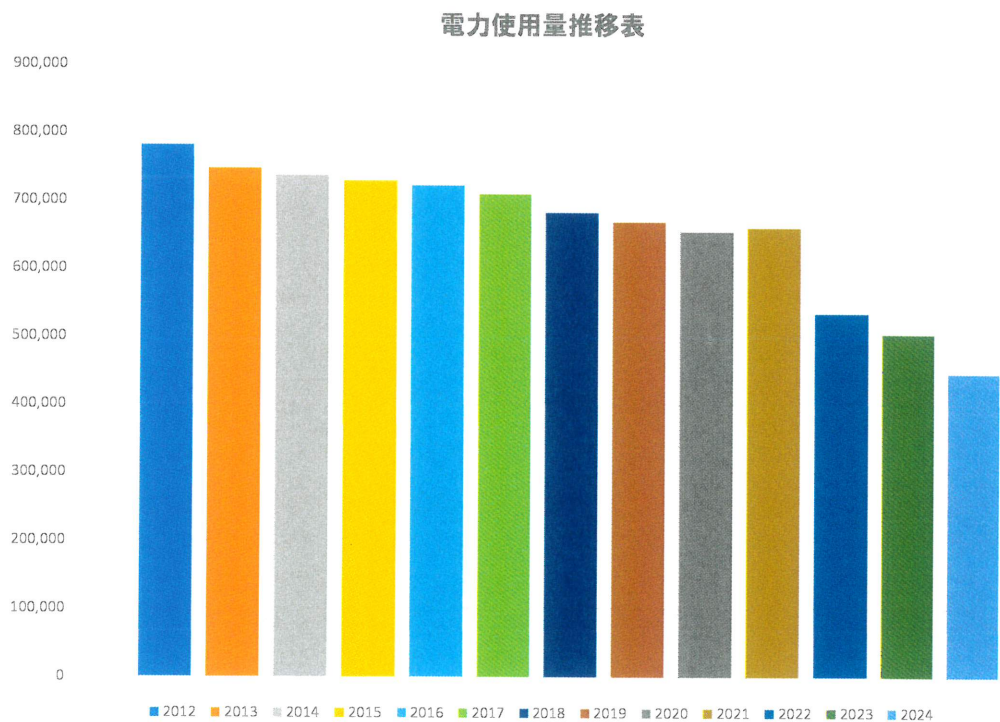
□ 二酸化炭素排出量推移表（2012年～2024年）

年	排出量 (Kg-CO2)
2012	919,931
2013	994,432
2014	1,024,763
2015	1,094,834
2016	1,109,655
2017	1,101,143
2018	1,084,710
2019	1,057,230
2020	955,135
2021	957,131
2022	911,559
2023	879,375
2024	854,488



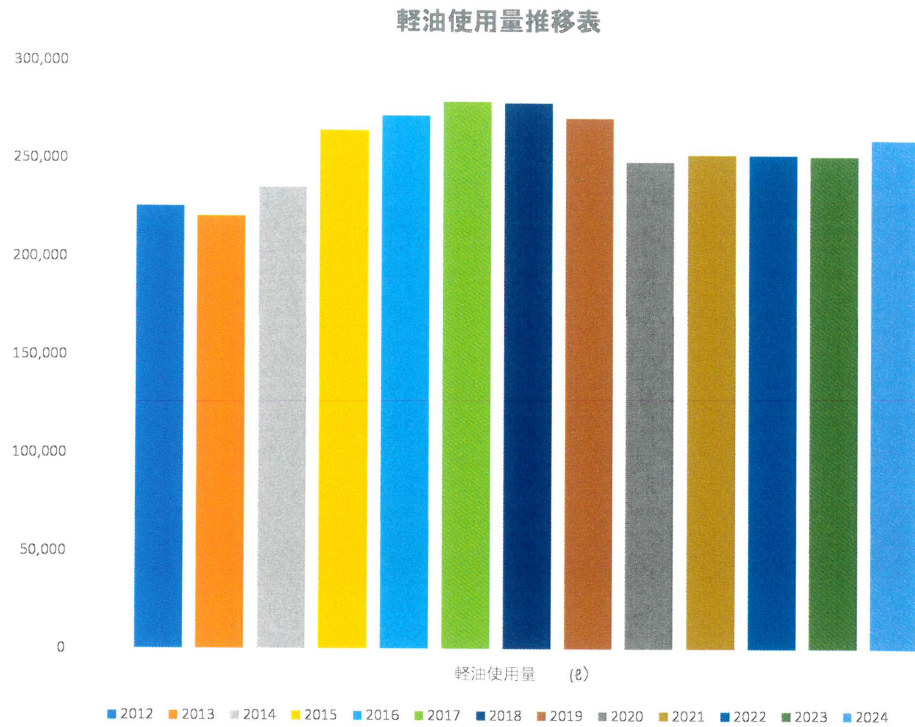
□ 電力使用量推移表（2012年～2024年）

年	電力使用量 (kwh)
2012	781,212
2013	746,965
2014	736,840
2015	728,393
2016	721,929
2017	709,193
2018	682,182
2019	668,650
2020	654,634
2021	659,939
2022	533,692
2023	503,322
2024	445,757



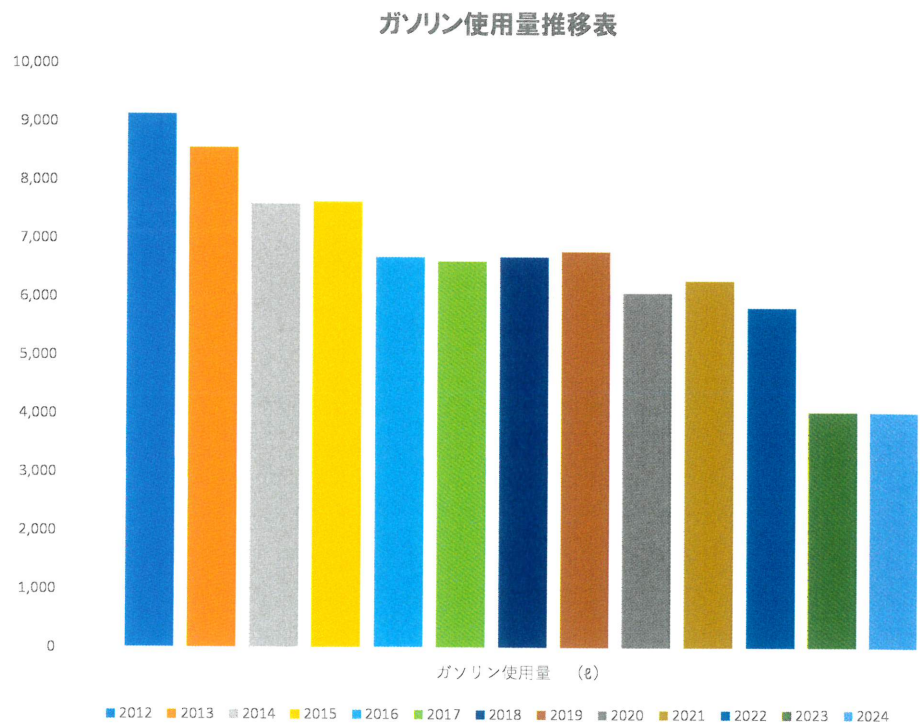
□ 軽油使用量推移表（2012年～2024年）

年	軽油使用量 (ℓ)
2012	225,812
2013	220,789
2014	235,441
2015	264,622
2016	272,099
2017	279,127
2018	278,549
2019	270,723
2020	248,524
2021	252,180
2022	252,014
2023	251,377
2024	259,778



□ ガソリン使用量推移表（2012年～2024年）

年	ガソリン使用量 (ℓ)
2012	9,136
2013	8,559
2014	7,597
2015	7,626
2016	6,684
2017	6,611
2018	6,687
2019	6,780
2020	6,081
2021	6,288
2022	5,826
2023	4,044
2024	4,042



7. 環境経営計画とその結果

環境経営目標	取組項目	評価	
(1) 二酸化炭素排出量の削減 ①電力使用量の削減	デマンド管理システムの導入	○	名古屋南で導入
	設備の点検整備の徹底	○	概ね実行、継続維持
	設備運転停止時の電源オフ	○	概ね実行、継続維持
	電気設備のLED化	○	名古屋南営業所の階段照明を入替
	空調の温度管理(冷房28℃、暖房20℃)	△	特に暑い(寒い)日に注意
②車両燃費の向上	車両の点検整備の徹底	○	概ね実行、継続維持
③軽油使用量の削減	エコドライブの徹底	△	実行不十分、再徹底
④ガソリン使用量の削減	アイドリングストップ	△	実行不十分、再徹底
	低年式車両の入替	○	3台入替、1台増車
	効率的な移動ルートの徹底	○	概ね実行、継続維持
⑤灯油使用量の削減	不要時の消火	○	概ね実行、継続維持
⑥都市ガス使用量の削減	給湯室使用の削減	○	概ね実行、継続維持
⑦LPG使用量の削減	給湯室使用の削減	○	概ね実行、継続維持
(2) 廃棄物排出量の削減	廃棄物分別の徹底	○	概ね実行、継続維持
	使い捨て製品の使用抑制	○	概ね実行、継続維持
	分別回収ボックスの設置	○	概ね実行、継続維持
(3) 水使用量の削減	蛇口の締め忘れ防止の徹底	○	概ね実行、継続維持
	洗車・散水時の節水	○	概ね実行、継続維持
	手洗い時の節水	○	概ね実行、継続維持
(4) グリーン購入の推進	事務用品等のグリーン購入	○	概ね実行、継続維持
	省エネ商品の購入	○	概ね実行、継続維持
(5) 環境配慮の取組	出前授業の推進	△	古井小学校(美濃加茂市)で実施
	お客様の廃棄物の再資源化提案	○	概ね実行、継続維持

○ : 良好 △ : ほぼ達成 × : 未実施

8.次年度の環境経営目標と取組内容

環境経営目標		基準年度	目標値(対基準年)	取組内容
		2022年度 22/3~23/2	2025年度 25/3~26/2	
(1) 二酸化炭素排出量の削減	①電力使用量の削減 (kWh)	533,692	3%削減 517,681	デマンド管理システムの管理 設備の点検整備の徹底 設備運転停止時の電源オフ 電気設備のLED化 空調の温度管理(冷房28℃、暖房20℃)
	②車両燃費の向上 (km/ℓ)	4.17	4.20	車両の点検整備の徹底 エコドライブとアイドリングストップ 低年式車両の入替
	③軽油使用量の削減 (ℓ)	(252,014)	(244,454)	効率的な移動ルートの徹底 —
	④ガソリン使用量の削減 (ℓ)	(5,826)	(5,651)	—
	⑤灯油使用量の削減 (ℓ)	2,547	3%削減 2,470	不要時の消火
	⑥都市ガス使用量の削減 (m3)	49.6	3%削減 48.1	給湯室使用の削減
	⑦LPG使用量の削減 (kg)	63.2	3%削減 61.3	給湯室使用の削減
二酸化炭素排出量合計 (kg-CO2)		(222,424.4)	(215,751.9)	—
(2) 廃棄物排出量の削減 (t)	一般	2.95	3%削減 2.89	廃棄物分別の徹底 使い捨て製品の使用抑制
	産廃	7.49	3%削減 7.27	分別回収ボックスの設置 廃棄物分別の徹底
(3) 水使用量の削減 (m ³)	1,893	3%削減 1,836	蛇口の締め忘れ防止の徹底 洗車・散水時の節水と水漏れ点検	
(4) グリーン購入の推進	購入時確認	購入時確認	事務用品等のグリーン購入 省エネ商品の購入	
(5) 環境配慮の取組	出前授業の推進 と廃棄物の再資源化提案	推進	出前授業の推進 お客様の廃棄物の再資源化提案	

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規等と遵守状況

法令の名称	適用内容	遵守状況
廃棄物処理法	マニフェストの交付・回収・保管の適正処理	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出(毎年6月)	
自動車リサイクル法	所有する車両の配車時にリサイクル適正処理を行う	遵守
自動車NOxPM法	特定地域での自動車排気ガスの排出基準を遵守	遵守
グリーン購入法	グリーン購入に努める	遵守
騒音規制法	騒音・振動規制基準の遵守	遵守
振動規制法	低振動型機械使用	遵守
消防法	消防用設備の点検結果報告書	遵守
	指定可燃物の届出・表示	
浄化槽法	浄化槽の保守点検(年4回)	遵守
	清掃(年1回)	
	法定検査(年1回)	
フロン排出抑制法	排出基準の順守	遵守
	簡易点検(年4回)	

(2) 違反・訴訟などの有無

環境関連法規への違反・訴訟はありません。

なお、関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

(1) 実施日

2025年 5月28日

(2) 見直しのための検討事項

- ①環境経営方針
- ②環境経営目標と環境経営計画の達成状況
- ③経営システムの実施状況
- ④環境関連法規制等の順守状況
- ⑤問題点の是正状況
- ⑥外部からの苦情要望
- ⑦改善のための提案

(3) 見直しの必要性

環境経営方針	:	要	・	不要
環境経営目標	:	要	・	不要
環境経営計画	:	要	・	不要
実施体制	:	要	・	不要
環境経営システム	:	要	・	不要

(3) 代表者による総合コメント

2024年度の目標数値は燃費の向上以外は概ね達成されている。特に、名古屋南営業所のベラー設備を省エネタイプの設備に新しく入れ替えたことにより消費電力は著しく節電ができた。車両は低年式車両を1台廃車し、新たに3台入れ替えをした。燃料消費量を削減するには業務上厳しいものがあるが、効率的に消費できれば燃費も向上すると思われる。営業所屋根において遮熱シートの設置、太陽光やバイオ発電の購入も必要に応じて検討し、人・設備・費用等を準備していきたい。

また、グループ会社である『REMAKINGグループ』として地域に愛される企業を目指し、自社ホームページに掲載したSDGs宣言を社内外に活動を継続的に発信していきたい。